

論理的思考力を育み英作文にいかす活動

大阪府私立羽衣学園高等学校 教諭 米田 謙三

高校2年 英語・情報科 ロンドンのちから

番組の特徴

中学、高校。そして大学、社会人になって求められる論理的思考力（クリティカル・シンキング）を養う番組である。

研究の概要

英語で「自分たちのまち」を紹介するテーマを通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする中で、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を育成する取り組みを行った。番組の視聴をもとに、論理的思考力（クリティカル・シンキング）を養い、実際に、海外の生徒とのコミュニケーションを行うことを目標として実践を進めた。生徒は、活動に積極的に取り組み、事実や意見などを多様な観点から考察し、相手にわかりやすく表現しようとする態度を持ってコミュニケーションを図ることができた。

授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：英語表現Ⅱ

目標：多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。

導入

「接続表現」についての復習で3つの英文を内容がつながるように文章にする。主張→展開→結論の基本構成を復習する。

課題把握

結果や結論の原因を考える論理的思考法について学び英語の文章を書く。

番組視聴

第7回 仮説形成

自力解決

番組を振り返り自分の考えを様々な角度から考えて、その正当性を証明する文章を書く。

ブラッシュアップ

文章を実際に交流学习のプレゼンテーションで発表するために互いに評価しあいブラッシュアップする。

まとめ

交流学习で海外の生徒に向けて発表する。自己評価、他者評価を実施する。



番組や関連動画クリップの活用意図

論理のポイントを学ぶための番組視聴

コミュニケーションを支える文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて論理的に正しく表現することができる力を番組視聴から身につけることができる。

自力解決のための動画クリップ

動画クリップを繰り返し視聴する場を設定することで、生徒は論理的思考法を身に付けることができ、自分なりに様々な角度から考えることができる。

授業デザインにかかわる教師の工夫

ワークシートの活用

番組に応じて文章を書くワークシートを用意することで、生徒たちが主体的に学習に取り組めるようにした。また、自分の思考を整理できるようなチャート形式とした。

タブレットの活用

生徒が自分の必要な部分を洗濯して練習等ができるように、タブレットを用意して「いつでも」「何度でも」番組を振り返ることができる場を設定した。

グループでの発表活動

実際に交流学习のプレゼンテーションで発表することを目標にすることで、お互いが伝えたい情報を事前に発表しあい、論理的な文章にまとまっているかをグループで確認してよりよいものにできるようにした。

生き生きと学ぶ子どもの姿

子どもの自己評価から

- 英文を読んだり聞いたりするときは、多少難しいことがあっても、前後関係などから意味を考えることが大切である。
- 考えながら読んだり聞いたりすることの大切さを学んだ

自己作成評価シートから

- 言いたいことを整理し、それをモデルに従って適切な形式で書くことから練習することを学んだ。
- 「主張→展開→結論」に従い、表現するようになった。

同僚の評価

- 様々なテーマについて書かれた英文を、学んだ文法知識などを活用して読んだり聞いたりして理解することは重要である。

実践を終えて〈行動宣言〉

適切な文法形式で正しく表現し、伝えたい情報を論理的にまとめることができるようになった。実際に交流学习に活用することで、多様な観点から考察する力や論理展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を身につけた。今後は、即興で伝えたい内容を整理して論理的に話したり、他者に質問や意見を述べたり、相手を説得するために意見を述べる力を身につけさせたい。